

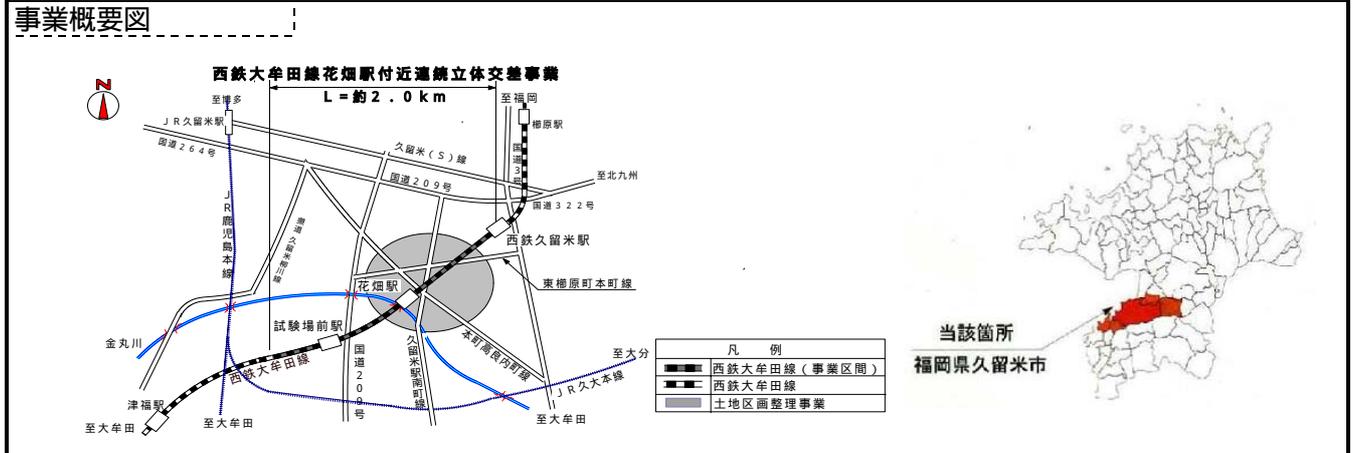
事後評価結果（平成18年度）

担当課：福岡県公園街路課
 担当課長名：櫛川 知彦

事業名	西日本鉄道株式会社大牟田線	事業区分	街路	事業主体	福岡県
起終点	自：久留米市東町 至：久留米市津福本町	延長	2.0 km		

事業概要：西鉄大牟田線は、久留米市の中心部を平面構造で南北に縦断しており、市街地の分断や踏切による道路交通の障害により、鉄道沿線だけでなく久留米市全体の発展を妨げる要因になっている。このような問題を抜本的に解決するとともに、花畑駅周辺地区の土地区画整理事業等関連事業を併せて行うことにより、都市機能の向上を図る。

事業の目的・必要性：西鉄大牟田線の久留米駅～試験場前駅間の約2.0 kmにおいて鉄道を高架化することにより6箇所の踏切を除却し、慢性的な渋滞の解消を図るとともに分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る。



事業の 効果 等	事業期間	事業化年度：H5年度 都市計画決定：H6年度	用地着手：H8年度 工事着手：H10年度	供用年 (暫定/完成)	(当初) / H16 (実績) / H16	変動 倍
	事業費	計画時 (名目値) - / 277億円 (実質値) - / -億円	実績 (名目値) - / 255億円 (実質値) - / -億円			変動 0.92倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	- / 12,133台/日	実績 (暫定/完成)	- / 14,454台/日	変動 119%
	旅行速度向上 (供用前並行道路 後並行道路) ; (供用直前年次) H16年度 (供用後年次) H16年度	10.3km/h	28.6 km/h	交通事故減少 (供用前現道 供用後現道) ; (供用直前年次) 年度 (供用後年次) 年度	件/億台×日	
	費用対効果 分析結果 (H14再評価)	B / C : 3.5	総費用 : 255億円 (事業費 : 255億円 維持管理費 : 億円)	総便益 : 884億円 (走行時間短縮便益 : 780億円 走行経費減少便益 : 104億円 交通事故減少便益 : 0.00億円)	基準年 : 平成14年度	
	費用対効果 分析結果 (事後)	B / C : 4.4	総費用 : 255億円 (事業費 : 255億円 維持管理費 : 億円)	総便益 : 1,121億円 (走行時間短縮便益 : 1,102億円 走行経費減少便益 : 15億円 交通事故減少便益 : 4.0億円)	基準年 : 平成16年度	
	事業遅延によるコスト増	費用増加額 : -億円	便益減少額 : -億円			
	事業遅延の理由	なし				
	客観的評価指標に対する事後評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 踏切道の除却により、踏切遮断及び踏切一旦停止による交通障害が全て改善され交通容量が大幅の増。 踏切による影響で発生していた渋滞が、踏切の除却により解消。 都心部への所要時間が大幅に削減。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地での交通の円滑化・安全確保に寄与。 ・ CO2の大幅な削減により環境にやさしいまちづくりに寄与。
	その他評価すべきと判断した項目 特になし
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目 特になし
	その他評価すべきと判断した項目 特になし
	事業を巡る社会経済情勢等の変化 特になし
	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 事業の効果が十分に発現しており、再事後評価の必要はない。
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特になし
	特記事項

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。